

令和2年5月29日（金）

「防災絵本『伝えたいこと』を大槌学園に寄贈しました」

令和2年5月27日(水)に、先日完成した防災絵本・DVD『伝えたいこと』を、3冊大槌学園に寄贈しました。

大槌学園は、この「防災紙芝居」の制作者である土沢葵さん、佐々木結菜さん、藤社彩乃さん3名の出身中学校ということもあり、「ぜひとも寄贈したい」という3人の思いにより実現しました。



佐々木さんの手から防災絵本を手渡された松橋文明大槌学園長は、「この絵本は震災を経験した人だからこそ作ることができる。絵本なので、震災を知らない低学年の生徒でも震災を理解するきっかけにできる。また、異動により沿岸で震災を経験していない教職員にも震災を知ってもらえるきっかけにもなる。」話しておられました。また、「震災を知ってもらうのはいいこと。若い伝承者として、全国にもっと広めてほしい。大槌学園の図書館にも置きます」と、語ってくださいました。



3人は、中学時代お世話になった学園長先生を前に、少し緊張した面持ちでしたが、学園長先生の言葉に深く頷いていました。佐々木さんは、「震災を経験していない世代や、これから南海トラフ地震で被害を受けるかもしれない地域に教訓を伝えていきたい。もっと全国に防災絵本と震災の教訓を広めていきたい」と決意を語りました。